

競 技 注 意 事 項

本大会は、2026年度日本陸上競技連盟競技規則および本大会申し合わせ事項によって行う。

1 練習について

- (1) 練習は、指定された練習場所・日程を〈練習会場日程〉で確認して実施すること。
- (2) 当該競技役員の指示により安全に留意して行うこと。
- (3) 練習時間・練習場所については、天候の状況によって変更や制限をする場合がある。
- (4) 練習会場には、投てき物は用意していないので各自のものを使用すること。また、投てき種目の練習は当該チームのコーチの指導の下、担当競技役員の指示に従って安全に留意して実施すること。
- (5) メイン競技場、補助競技場トラックでは逆走を禁止する。

【練習会場】

(1) メイン競技場

- ①トラック及び棒高跳、走幅跳、三段跳ピットの使用ができる。ただし、競技の準備を優先するため当該審判員の指示に従うこと。
- ②練習時間は、開場から競技開始30分前までとする。

(2) 補助競技場

- ①レーンの使用については以下の通りである。
 - ア 1～2レーンは、周回練習のみ使用可とする。ただし、1レーンはトライアル、2レーンはjog練習とする。（集団jogは不可。）
 - イ 3～4レーンは、短距離、リレー練習を優先する。
 - ウ 5レーンは女子400mH、6レーンは男子400mHを優先する（大会2日目まで）。
 - エ ブロックを使用してのスタート練習は、多目的広場側直走路4～6レーンとする。
 - オ 多目的広場側直走路7・8レーンは女子100mH、10・11レーンは、男子110mHとする。
- ②テント等を設営しての独占的な使用を禁止する。
- ③個人の練習道具（メディシンボール、ミニハードル、ラダー等）を使用した練習は禁止する。
- ④投てき競技で、回転投法ではない砲丸投の投てき練習は、トラック外側の砲丸投ピットで行うことができる。またフィールド内で投てき物を持たない基本練習を行うことができる。

(3) 多目的広場

- ①砲丸投（回転投法）・円盤投・ハンマー投・やり投の練習ができるが、該当種目の練習時間を〈練習会場日程〉で確認の上、実施すること。
- ②個人の練習道具（メディシンボール、ミニハードル、ラダー等）を使用した練習が、決められたエリア内で実施することができる。
- ③当該種目の招集完了時刻以降の投てき練習は禁止する。

(4) 雨天練習場

- ①ピストルの使用は禁止する。
- ②第2ゲート側の入口から入退場することとし、第3ゲート側からの入退場は禁止する。
- ③マット・シート等を敷いての独占的な使用を禁止する。
- ④ウォーキング、ジョギング等のウォーミングアップまたは、動きづくり程度の練習に限定する。
- ⑤ウォーキング、ジョギング等は左回りとし、逆走は禁止する。
- ⑥個人の練習道具、ハードル、スターティングブロックは使用できない。

2 招集について

- (1) 招集所は、メイン競技場第2ゲート側バックスタンド内通路に設ける。
- (2) 招集開始時刻を点呼開始時刻、招集完了時刻を移動開始時刻とし、招集時刻は競技時刻を基準に、下記のとおりとする。

種 目	招集開始時刻	招集完了時刻
トラック種目	競技開始25分前	競技開始15分前
フィールド種目（跳躍・投てき）	競技開始50分前	競技開始40分前
男子走幅跳(決勝)・男子三段跳(決勝) 女子走幅跳(決勝)	競技開始60分前	競技開始50分前
フィールド種目（棒高跳）	競技開始70分前	競技開始60分前

※棒高跳は、当該競技場所で開催し、点呼終了後から競技役員の指示により練習できる。

※下記の種目の予選及び5000m決勝については招集完了時間を段階的に行うので注意すること。

1000m・2000m		4000m・8000m・4000mH		1500m	
1～5組	15分前	1～4組	15分前	1～2組	15分前
6～10組	5分前	5～8組	5分前	3～4組	5分前
11組～	競技開始5分後	9組～	競技開始5分後		

5000m（決勝）		4×400mR	
1組	15分前	1～2組	15分前
2組	5分前	3～4組	5分前

- (3) 招集完了時刻に遅れた競技者は、当該競技種目を欠場したものとして処理する。
- (4) 招集の手順
 - ①競技者は、招集開始時刻までに招集所で待機し、競技者係の点呼を受ける。その際、競技者係にアスリートビブス・競技用靴・スパイク・競技場で着用する衣類・持ち物等の確認を受ける。その際、トラック競技の競技者のみ腰ナンバー標識（2枚）を受け取る。
 - ②ビデオ・ラジオ・CD・トランシーバー・携帯電話もしくは類似の機器等を競技場内に持ち込むことはできない。（TR6.3）
 - ③招集所は当該種目の競技者以外の立ち入りを禁止する。
 - ④代理人による招集の最終確認は認めない。ただし、複数種目を同時に兼ねて出場する競技者は、最初の種目の招集開始時刻前までに『多種目同時出場届』を本人または代理人が競技者係（招集所）に提出すること。
 - ⑤リレー競技に出場するチームは、競技者係（招集所）でオーダー用紙を受け取り、招集完了時刻の60分前までにオーダーを記入し、競技者係に提出すること。オーダー用紙提出後の内容変更は、主催者が任命した医務員あるいは総務の判断がなければ認められない。
 - ⑥出場種目を欠場する場合は、招集所で『欠場届』を受け取り、招集開始時刻までに競技者係（招集所）に『欠場届』を提出すること。
 - ⑦混成競技の招集は、第1日目、2日目とも第1種目は招集所で行うが、それ以降の種目については、混成競技係が混成競技控室で点呼・確認後、各競技場所に誘導し、当該審判員に引き継ぐ。（混成競技控室は「ウォーミングアップ室A」とする。）

※多種目同時出場届・欠場届・リレーオーダー用紙は招集所に用意している。

3 競技について

- (1) 競技順は、プログラム記載の番号順とする。
- (2) 当該種目出場の競技者以外は、競技場所に立ち入ることはできない。
- (3) トラック競技において、欠場者のレーンはそのまま空けて行う。
- (4) 短距離種目では、競技者の安全確保のためフィニッシュライン通過後も自分に割り当てられた走路を走ること。
- (5) トラック競技のスタートについては、「各レースでの不正スタートは、1回目からすべて失格とする。」※混成競技は別規程（TR16.8）を適用する。
- (6) TR16.5（不適切行為）が認められた場合は、審判長の判断により「イエローカード」が出されることがある。同じ競技会で2度の規則違反があった場合は失格となる。
- (7) トラック競技の判定は、全て写真判定装置（全自動電気計時 1/1000）で行う。
- (8) リレー競技に出場するチームは、同一デザインのユニフォームを着用すること。
- (9) 4×100m リレーのマーカーは、主催者が用意したものを出発係から受け取り、1カ所のみ使用することができる。使用したマーカーはそのチームで回収すること。
- (10) 4×400m リレーに出場するチームの第2・第3走者は、通過順位確認のため胸に別ナンバーカードと腰ナンバー標識をパンツの左横やや後方に付けること。別ナンバーカード・腰ナンバー標識は招集所で配布する。また第3・第4走者のバトンの受け渡しは、第3コーナー内側に示された黄色旗を通過した時点（コーナートップ）の順位で内側から並び、次走者はテークオーバーゾーンの内側より走り出さなければならない。その際、並んだ順序を変えてはならない。
- (11) 競技場内でのフィールド競技の練習は、競技役員の指示によって行う。
公式練習は、2回とする。
- (12) 三段跳の踏切板は、男子11m、女子9m、10mの地点に設置する。女子は2種類から選択できるが、途中で変更することはできない。
- (13) フィールド競技は、走高跳を除いて主催者が用意したマーカーを置くことができる。跳躍・やり投の競技者は、助走路の外側（走高跳では助走路内）に2カ所置くことができる。サークルで実施する投てき競技では、マーカーをサークルの直後あるいはサークルに接して1カ所置くことができる。使用するマーカーは当該競技役員が現地で渡す。そのマーカー以外は使用してはいけない。また、走高跳のマーカーは、各自が用意したもの（粘着テープ）とする。なお、使用したマーカーは、競技終了後、各自で回収すること。
- (14) 棒高跳の支柱移動申請については、点呼時に口頭で当該競技役員に伝え、それ以降に位置を変更したい場合は、支柱がセットされる前に当該競技役員に申し出ること。
- (15) 男子5000mと女子3000mはグループスタートで行う。
- (16) 競歩の制限時間は、下記の時間を超えて次の周回に入れない。
男子5000mW 30分 女子5000mW 35分
- (17) 競技者に対する競技場内での助力は禁止とするが、助言については、コーチングエリア内で行うことができる。TR6.4.5は、バックスタンドとサイドスタンドのコーチングエリアのみ適用することとし、競技者が録画機器等を手に持って画像を確認することができる。ただしメインスタンドは禁止する。
なお、文書をもって連絡することや競技者が当該競技場所を無断で離れることはできない。
- (18) フィールド競技における競技中の競技者への水分、氷等を渡す場合は、当該競技役員あるいはマーシャルを通じて競技者に渡すことができる。
- (19) 本大会では、以下の通り計測ラインを設けるため、それ以下の記録については計測しない。

種 目	男子	女子
走幅跳	5 m 5 0	4 m 0 0
砲丸投	8 m	6 m
円盤投	2 3 m	1 7 m
ハンマー投	2 3 m	1 5 m
やり投	3 3 m	2 3 m

※混成競技には計測ラインを設けない。

(20) 走高跳・棒高跳におけるバーの上げ方

走高跳	男子	1m55	1m65	1m80(練習)	1m55	1m60	1m65	1m70	1m75	以降	3cm
	男子混成	1m40	1m55	1m70(練習)	1m40	1m45	1m50	1m55	1m60	以降	3cm
走高跳	女子	1m25	1m35	1m50(練習)	1m25	1m30	1m35	1m40	1m45	以降	3cm
	女子混成	1m15	1m30	1m40(練習)	1m15	1m20	1m25	1m30	1m35	以降	3cm
棒高跳	男子	3m10	3m60	4m10(練習)	3m10	3m30	3m50	3m70	3m90	以降	10cm
	女子	2m00	2m50	3m00(練習)	2m20	2m40	2m60	2m80	3m00	以降	10cm

※練習の高さについては、競技者の希望の高さで2回とする（棒高跳はゴムバーを使用）。

①走高跳・棒高跳では最後の一人になるまで、上記のバーの上げ方とする。

②第1位が同記録の場合、順位決定のためのバーの上げ下げは、走高跳では2cm、棒高跳では5cm単位とする。

③走高跳・棒高跳において四国新人大会出場枠に同順位が出た場合は、代表決定戦を行う。

(21) TR4.4.2の参加の拒否については、対校戦のため適用しない。

4 競技の抽選並びに番組編成について

(1) 予選におけるトラック競技の走路順、フィールド競技の試技順は、プログラム記載の左側に示された番号順とする。

(2) トラック競技の準決勝・決勝については、主催者側がルールに則り、レーン順を決定する。その結果を大型映像により発表する。

(3) トラック競技において次のラウンドへの出場者を決める際、その最下位で同タイムがでた場合（以下同タイム者という）判定写真を細部(1/1000秒)まで拡大し、着差を判定する。それでも判定できない場合は下記の方法で決定する。

① 100m・200m・400m・800m・100mH・110mH・400mHの場合、同タイム者については、レーンに余裕がある限り次のラウンドへ進むことができる。レーンに余裕のない場合は、同タイム者、または代理人によって抽選する。

② ①以外の種目の場合

同タイム者については、すべて次のラウンドに進むことができる。

5 競技用シューズについて

(1) シューズとは、スパイク・ランニングシューズを含むものである。

(2) スパイクのピンの長さは9mmをこえてはならない。また、走高跳及びやり投の場合は12mmを超えてはならない。これらのピンの直径は、先端が4mm以内でなければならない。また、ピンの数は11本以内とする。

(3) シューズの靴底の厚さは、20mm以下、競歩については40mm以下とする。

6 アスリートビブスについて

(1) アスリートビブスは、指定された大きさ（横24cm以内×縦16cm以内）で、数字が明瞭に見えるように、ユニフォームの胸部と背部に付けること。折り曲げたり、汚したりしないこと。

ただし、跳躍競技に出場する競技者は、胸部または背部のどちらか一方でもよい。

(2) トラック競技者に出場する選手は、主催者が準備した腰ナンバー標識を招集所で2枚受け取り、パンツの左右横や後方に付けること。

(3) 3000m以上の種目と4×400mRの第2、第3走者は、別ナンバーカードを使用する。別ナンバーカードについては、招集所にて配布する。

7 競技場の入退場について

(1) トラック競技の競技者は、係役員の誘導によって入場する。

- (2) フィールド競技の競技者及び競技中の競技者の入退場は、当該競技役員及びマーシャルの指示に従って行う。
- (3) 種目別入退場口は下記のとおりとする。各ゲートへは第2ゲートを除き、メイン競技場外周を通じて移動すること。
 - 第1ゲート：第1コーナー付近からスタートするトラック競技・1500m・3000m S C・3000m・5000m・競歩
 - 第2ゲート：棒高跳・投てき種目
 - 第3ゲート：走高跳
 - 第4ゲート：第4コーナー付近からスタートするトラック競技及び走幅跳・三段跳・200m

8 競技場の中に商品名のついた衣類・バッグ類を持ち込む場合について

- (1) 日本陸上競技連盟「競技会における広告および展示物に関する規定」を適用する。
- (2) 競技役員に指摘された場合は、その指示に従うこと。
- (3) 競技者が使用する医療用テープまたは一般的なテープは、無地に限る。

9 競技用具について

- (1) 競技に使用する用具は主催者が用意した物を使用しなければならない。ただし、やりは検査において合格したものに限り使用が認められる。やりの検査は、招集開始時刻60分前から招集開始時刻までに競技場第1ゲート付近で行う。検査に合格したやりは、一括借り上げし、参加競技者で共有できるものとする。借り上げたやりは、その競技終了後、競技場第1ゲート付近で返却する。なお、借り上げたやりが破損しても責任を負わない。
 - また、個人所有のボールの検査は、最終点呼時に当該跳躍審判が行う。
- (2) 練習用として個人の用具は競技場所に持ち込んで서는ならない。

10 抗議と上訴について

- (1) 競技中に起きた競技者の結果または行為に関する抗議は、その種目の結果が正式発表（大型映像表示終了時刻を基準とする）されてから30分以内、同一日に次のラウンドが行われる種目では15分以内に競技者自身またはチームを公式に代表する者が、抗議担当総務員（メイン競技場 第1会議室）に申し出て、当該審判長に対して口頭でなされなければならない。
- (2) 抗議に対して審判長は速やかに裁定する。審判長裁定を不服としてさらに上訴する場合は、コーチまたは当該競技者自身から、預託金20,000円を添えて「上訴申立書」を抗議担当総務員を通してジュリーに提出しなければならない。
 - なお、「上訴申立書」の提出時刻は、審判長による説明から30分以内（同一日に次のラウンドが行われる種目では15分以内とする）また、ジュリーの裁定後に新たな変更可能な決定的証拠が提示された場合は、裁定を再考することができるが、それ以外の場合では、ジュリーの裁定に従わなければならない。

11 表彰について

- (1) 表彰は中央エントランス内で実施する。
- (2) 各種目第3位までの入賞者には、賞状を授与する。3位までの入賞者は、競技終了後入賞者控場所（中央エントランス内）で待機し、表彰係の指示を受けること。入賞者はチームジャージやチームシャツで表彰を受けること。
- (3) 学校対抗の表彰は、閉会式において男女とも総合・トラック・フィールドの第1位から第3位まで行う。
- (4) 得点は、1位8点、2位7点、3位6点・・・8位1点とする。ただし、混成競技の得点は、『総合』のみに加える。

1 2 その他

- (1) 大会期間中競技場で発生した傷害や疾病は、メインスタンド下の医務室で応急処置を行うが、その後の責任は負わない。なお、参加者は健康保険証を持参すること。
- (2) 更衣は、メイン競技場 1 階男子・女子更衣室及び補助競技場の男子・女子更衣室を使用することができる。ただし、貴重品は各自で保管し、盗難防止に努めること。
- (3) 記録は競技終了後、大型映像で表示する。決勝のスタートリストについても大型映像で発表する。記録表示板は設置しない。
なお、記録の速報を愛媛陸協ホームページで確認することができる。
- (4) 記録証の交付を希望する競技者は、メイン競技場 1 階(第 1 会議室)の総務員に記録証交付願および交付料金 500 円を添えて申し込むこと。
- (5) 集団での連呼応援はメインスタンドでは禁止とし、バック・サイドスタンドでの集団での応援(連呼、応援歌合唱など)は、フィールド種目の妨げにならないようにすること。
- (6) メイン競技場内のメインスタンドでのテント設営は禁止する。
- (7) 横断幕等は、バックスタンド 2 階通路より上部及びサイドスタンド最上段に設置することができる。ただし、階段通路を横断幕で塞がないこと。
- (8) 迷惑行為および盗撮等は犯罪であるので、発見した場合は速やかに本部役員(第 1 会議室)まで連絡すること。
- (9) その他、詳細については監督会議で説明する。

※ 届出用紙は以下の場所に用意してある。

- ・多種目同時出場申請書・欠場届・リレーオーダー用紙・・・競技者係(招集所)
- ・記録証明書交付願・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・総務員(第 1 会議室)
- ・抗議申立書・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・抗議担当総務員(第 1 会議室)

〈練習会場日程〉下記の表の内容を確認の上、安全に留意して実施すること。

1 メイン競技場

9月12日（土）	
< 8 : 3 0 ~ 1 0 : 0 0 > 【トラック競技】 1 レーン・・・トライアル 2 レーン・・・jog（周回） 3～5 レーン・・・スタート・リレー 6～7 レーン・・・1 0 0 H 8～9 レーン・・・1 1 0 H	< 8 : 3 0 ~ 9 : 5 0 > 【フィールド競技】 （跳躍種目） 男子棒高跳 8 : 3 0 ~ 9 : 2 0 男女走幅跳 8 : 0 0 ~ 9 : 3 0 （投てき） ・やり投 8 : 0 0 ~ 9 : 0 0 助走練習のみ
9月13日（日）	
< 8 : 0 0 ~ 9 : 3 0 > 【トラック競技】 1 レーン・・・トライアル 2 レーン・・・jog（周回） 3～5 レーン・・・スタート・リレー 6～7 レーン・・・女子 400mH（3 台目まで） 8～9 レーン・・・男子 400mH（3 台目まで） 水郷・・・3 0 0 0 m S C	< 8 : 0 0 ~ 9 : 3 0 > 【フィールド競技】 （跳躍種目） ・男女走高跳 8 : 0 0 ~ 9 : 3 0 ・女子棒高跳 8 : 0 0 ~ 8 : 5 0 （投てき） ・やり投 8 : 0 0 ~ 9 : 0 0 助走練習のみ
9月14日（月）	
< 7 : 3 0 ~ 8 : 3 0 > 【トラック競技】 1 レーン・・・トライアル 2 レーン・・・jog（周回） 3～5 レーン・・・スタート・リレー 6～7 レーン・・・1 0 0 H 8～9 レーン・・・1 1 0 H	< 8 : 0 0 ~ 9 : 0 0 > 【フィールド競技】 （投てき種目） ・男女砲丸投 8 : 0 0 ~ 9 : 0 0 ・男子やり投 8 : 0 0 ~ 9 : 0 0 助走練習のみ

2 補助競技場（やり投については助走練習のみとする）

9月12日（土） < 7 : 3 0 ~ 1 7 : 0 0 >	
【トラック競技】 1 レーン・・・トライアル 2 レーン・・・jog（周回） 3～5 レーン・・・スタート・リレー 6 レーン・・・4 0 0 mH（男女） 7～8 レーン・・・1 0 0 H 10～11 レーン・・・1 1 0 H	【フィールド競技】 （跳躍種目） ・男子走幅跳 7 : 3 0 ~ 9 : 3 0 ・女子走幅跳 1 0 : 3 0 ~ 1 3 : 0 0 ・男女走高跳 9 : 3 0 ~ 1 7 : 0 0 ・男女三段跳 7 : 3 0 ~ 1 7 : 0 0 ・男女砲丸投 7 : 3 0 ~ 1 7 : 0 0
9月13日（日） < 7 : 3 0 ~ 1 7 : 0 0 >	
【トラック競技】 1 レーン・・・トライアル 2 レーン・・・jog（周回） 3～6 レーン・・・スタート・リレー 5 レーン・・・女子 400mH（5 台目まで） 6 レーン・・・男子 400mH（5 台目まで） 4 0 0 mHは 1 4 : 0 0 まで	【フィールド競技】 （跳躍種目） ・女子走高跳 7 : 3 0 ~ 1 0 : 3 0 ・男子走高跳 1 0 : 3 0 ~ 1 3 : 0 0 ・男女走幅跳 7 : 3 0 ~ 1 2 : 0 0 ・男女三段跳 7 : 3 0 ~ 1 7 : 0 0 ・男女砲丸投 7 : 3 0 ~ 1 7 : 0 0

9レーン・・・100mH 11レーン・・・110mH	
9月14日（月）＜7：30～15：00＞	
【トラック競技】 1レーン・・・トライアル 2レーン・・・jog（周回） 3～5レーン・・・コーナースタート 7～8レーン・・・100H 10～11レーン・・・110H	【フィールド競技】 （跳躍種目） ・女子三段跳7：30～9：30 ・男子三段跳9：30～12：00 （投てき種目） ・男子砲丸投7：30～9：00 ・女子砲丸投9：00～11：00

3 多目的広場

9月12日（土）＜7：30～17：00＞	
【共通】北側エリア ・メディシンボール ・ミニハードル ・ラダー等	【投てきゲージ】 ・女子ハンマー投7：30～9：00 ・男子ハンマー投9：00～11：00 ・女子円盤投11：00～13：30 ・男子円盤投13：30～15：30 ・男女砲丸投（回転投げ）15：30～17：00 【やり投】中央エリア ・突き刺し練習のみ
9月13日（日）＜7：30～17：00＞	
【共通】北側エリア ・メディシンボール ・ミニハードル ・ラダー等	【投てきゲージ】 ・男子円盤投7：30～9：00 ・男女砲丸投（回転投げ）10：00～11：00 15：00～17：00 【やり投】中央エリア ・女子やり投11：00～13：00 ・男子やり投13：00～15：00
9月14日（月）＜7：30～15：00＞	
【共通】北側エリア ・メディシンボール ・ミニハードル ・ラダー等	【投てきゲージ】 ・男子砲丸投（回転投げ）7：30～9：00 ・女子砲丸投（回転投げ）9：00～10：00 【やり投】中央エリア ・男子やり投10：00～11：50